

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	914 子育て支援対策事業	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	04	児童福祉費
基本 施策	10 少子化に歯止めをかける	目	01	児童福祉総務費
		細目	213	子育て支援対策事業
行革大綱の重点事項番号	4	細々目	02	子育て支援センター費
担当部署	コード	553000	担当者	福山 ちかよ
	名 称	伊賀支所住民福祉課	氏名	福山 ちかよ
			連絡先	45 - 9105 (内線) 243

### 事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	乳幼児を養育する保護者	※対象件数
成果(どうする)	子育てに対する不安や負担を軽減し、交流の場を提供することにより、子育てをサポートする。	
根拠法令・要綱等	伊賀市子育て支援センター設置及び管理に関する条例	
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	ひろば事業・相談事業・子育てサポーターの研修会開催・子育てサークルへの支援等	
社会情勢 の変化等	市町村合併により、伊賀支所管内だけでなく、他支所からの利用者も増えつつある。	

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	1 人
3 年間運営費	2,319 千円
4 市内の 類似施設	市内他支所の子育て支援センター

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
来所者数	子育て支援センター(プレイルーム)来所者数	人	目標 1250	目標 1250	1300	1300
			実績 1053	実績 1294		
事業の回数	事業の回数	回	目標 48	目標 48	48	48
			実績 42	実績 48		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
来所者数	来所者数	参加率での指標は対象者の特定が困難であるため、参加者数での目標設定とする。	人	目標 1250	目標 1250	1250	1250
				実績 1053	実績 1294		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	2,290	2,319	4,549	4,549				
A の 財源 内訳								
国庫支出金					2,180	2,180		
県支出金								
地方債								
その他	11	11	13	13				
一般財源	2,279	2,308	2,356	2,356				
事業投入人件費 (B)	0.2 人	1,440	0.2 人	1,440	0.1 人	720	0.1 人	
フルコスト(A)+(B)	3,730	3,759	5,269	5,269				

### 事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
効果性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
達成度	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効率性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
計画性	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
その他	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求められることができる事業である。	
コスト	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	当初は現役の保育士が担当していたが、正規職員削減等により保育士資格等を持たない臨時職員が担当しており、習熟度や専門性において少なからず問題がある。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 参加者等から要望の多かったひろば事業(こあらっこ)を新たに追加。伊賀支所管内以外の利用者が年々増加している。各所研修に出来る限り参加し、知識技術の取得に努めた。

### 今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	中林 千春
【方向性】	現状維持
【理由】	少子化や核家族化が進む中、子どもや家庭を取り巻く環境は大きく変化しているため、子育てに関する相談や情報提供をおこなっていく必要がある。地域の子育てボランティアや子育て支援団体と連携しながら、今後も地域の子育て支援の充実を図っていく。
現時点における課題、その他	経済情勢の悪化、少子化、核家族化、地域の子育て支援機能の低下により、子育ての悩みや子育ての不安感を解消できていない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	地域の子育てボランティアの育成と地域の子育て支援サポーターとの情報交換や資質向上のための研修会を、毎年度実施する。